

創立 1980年10月8日



ROTARY CLUB OF SAKAI NORTH

第2640地区 堺北ロータリークラブ週報

事務所 〒590-0940 堺市堺区車之町西2丁1番30号 ポピア南海3F・Tel:(072)223-2300番
 例会日 毎週金曜日 午後0時30分
 例会場 「天兆閣」別館4F Tel:(072)222-0131番(代表)
 URL : <http://www.sakai-kita.jp/>
 E-mail : snrc@jasmine.ocn.ne.jp
 ガバナー(第2640地区) : 辻 秀和
 ガバナー事務所 URL :
 E-mail : hidekazu-2640@pure.ocn.ne.jp
 会長:坂田兼則 幹事:藤永 誉 広報委員長:山ノ内修一 編集者:山ノ内修一

四つのテスト 言行はこれに照らしてから 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか

本日の例会

2015年10月30日(金)第1683回

卓話 「テーブル会議」

“社会奉仕活動と親睦活動の今後について”

今週の歌 「四つのテスト」

「旅 愁」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

今週の歌「旅愁」

更けゆく秋の夜 旅の空の
 わびしき思いに ひとりなやむ
 恋しやふるさと なつかし父母
 夢路にたどるは 故郷の家路

前回の例会

2015年10月23日(金)第1682回

卓話 「電力自由化に伴う

HEMSの役割」

卓話者 三菱電機住環境システムズ(株)

江野澤 祐一様

紹介者 辰 正博 会員

今週の歌 「奉仕の理想」

「見上げてごらん夜の星を」

お客様の紹介

出席報告 会長の時間

委員会報告・幹事報告・SAA報告

<10月23日(金)の出席報告>

会員数	31名
出席会員	22名
欠席会員	9名
ビジター	0名
ゲスト	2名
9月26日(金)の出席率	93.54%

次週の例会

2015年11月6日(金)第1684回

卓話 「ロータリー財団フォーラム」

卓話者 山中 喜八郎 ロータリー財団委員長



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a Gift to the World

国際ロータリー会長 K.R. ラビンドラン (スリランカ・コロンボRC)

卓 話

「電力自由化に伴うHEMSの役割」

三菱電機住環境システムズ㈱

江野澤 祐一様



震災以降、原発の停止とそれに伴う LNG 火力の偏重と再生可能エネルギーの普及など、日本のエネルギー事情は大きく変わりましたが、政府としては原価総括方式による割高な電気料金の是正、複数の発電会社による安定供給の確保が急務であり、その流れに沿って電力システム改革が行われています。

電力システム改革は、まず 2015 年 4 月に電力広域的運営推進機関が設立され、全国規模での需給調整や新規電源の受け入れに係る業務の中立化が図られ、インフラ整備の下地が整いました。

いよいよ、2016 年 4 月には電力小売全面自由化が実施され、関西地区の方でも東京電力や中部電力、あるいは新規の発電事業者を自由に選択し電気を買えるようになります。電力システム改革の山場は、2018 年に実施される送配電部門の法的分離、いわゆる発送電分離です。これにより、現在は電力会社が所有する送電線が中立の存在となり、発電事業者は公平に送電インフラを利用でき、複数の発電所による多様な供給が実現します。そして、発送電分離が完了したのち、最後に電気料

金の規制緩和が実施されます。この後、市場競争原理に従い電気料金が安価になると政府は見っていますが、先に自由化を実施した欧米諸国では電気代は上昇傾向にあります。

さて、先ほども申しあげたとおり、2016 年 4 月からは電力会社を自由に選べるようになりますが、実際にどの電力会社のどの料金プランがお得になるのでしょうか？

今までは、非電化住宅なら従量電灯、オール電化なら深夜電力が使える専用メニューで契約という簡単な話でしたが、一般家庭のニーズに合わせて、様々なプランが出てくると想定されます。

2017 年にはガスの小売自由化も決定しており、ガスと電力のセット販売などにも期待が持てます。

とはいえ、なかなか電気代が下がらないであろうと予測される中、注目されているのが EMS(Energy Management System)技術です。

タイトルにもある HEMS とは Home Energy Management System の略で住宅用の EMS を指します、マンション用は MEMS、ビルや商業施設などは BEMS、工場用は FEMS と呼ばれ、それらをまとめた地域全体を対象とするものは CEMS と呼ばれています。

この EMS の主たる目的はエネルギーの管理であり、すでに導入が進んでいる工場やビルなどにおいてはデマンド契約時のピークカットなどを行っています。具体的には消費電力を計測し、契約電力の上限に近付くと照明や空調の制御などにより電力の超過を抑え、電気料金の削減と省エネ化をサポートしています。

家庭用の HEMS では、まず「見える化」が重要になります。たとえば、消費電力量の見える化をすることで節電意識が高まり、約 11%の省エネ効果があるといわれています。

それだけではなく、各家庭のエネルギーの使い方を見せることにより、先に述べた新

しい電力料金メニューの中からどのプランを選択すべきなのかという判断材料を提供し、お得な生活をアシストします。

また、HEMSのMはManagement、管理です。三菱電機を含む家電メーカーのHEMSは対応機器を制御することで、より快適で省エネな生活を実現しています。

また、住宅においては太陽光発電による「創エネ」、家電機器の最適制御による「省エネ」、そして蓄電池や蓄熱による「蓄エネ」という3本の柱が支えあっています。

三菱電機では、太陽光発電の発電量と消費量を同時に見える化することで省エネ行動へ向かわせる時に、エアコンと換気システムを連動させることの相乗効果により省エネと快適性を実現しています。

さらに、家の外からスマートフォンでエアコンの操作やお風呂の湯はりができるといった便利な機能も搭載し、次世代の家電機器の在り方を提案しております。

また現状は、高価で普及の進まない蓄電池の代用として、比較的安価で大容量な電気自動車のバッテリーを利用する、EV用パワーコンディショナを世界で初めて開発、発売いたしました。これによりピーク時の買電量を抑え、万が一の停電時にも普段通りの生活に必要な容量の給電が可能となります。

蓄電池を活用することで、電力自由化後の料金変動にも対応できると考えます。これは、料金の安い時間に充電し、料金の高いピーク時間などに放電することで、その差分をメリットにします。

最後に、三菱電機は電力自由化の時代にあっても、HEMSを通じて皆様の快適でお得な暮らしをサポートしてまいります。

会長の時間

会長 坂田 兼則



先週の16日の金曜日は、朝から堺中RCさんの25周年記念事業の記念ゴルフコンペがあり、当クラブからも4名の会員さんが参加していただきました。有難うございました。又夜には25周年記念式典があり、堺中クラブさんの姉妹クラブのある台湾・韓国から多数のゲストが来られるというので、地区の米山委員であります小西会員がその通訳として米山奨学生をつれて参加してくれました。小西会員ご苦労様でした。私も記念式典に参加してきましたが、総勢約150人ほどの盛大な式典でした。御報告申し上げます。

次に、当クラブの35周年事業の最後として、記念チャリティーゴルフコンペが来週31日に行われます。現在中田実行副委員長にはその段取りに必死に取り組んでいただいております。会員の皆様には是非御協力いただき、35周年事業が無事終わられるようお願いいたします。

では、本日の会長の時間は、南海グリルさんにお世話になっている例会場の「ローズの部屋」のローズすなわちバラについて即席のお話をさせていただきます。

バラの起源は、紀元前3500万年前とも7000年前とも言われており、その原産地は、中国南西部、インド、又はヒマラヤの山麓とも言われております。世界最古のバラについての文献としては、紀元前2000年前のバビロニアのギルガメシュ叙事詩の中に「花

を嗅ぐイシュタル」という記述があり、之が最古のバラに関する文献といわれております。

又、ギリシャのクレタ島で発見された紀元前 1500 年ごろのものと思われる壁画には彩色されたバラが描かれており、最古のバラの絵といわれております。

古代においてバラを愛した人物としては、エジプトのクレオパトラや皇帝ネロが有名ですが、クレオパトラは自分の部屋の床にバラを敷き詰めたり、バラの風呂に入っていたそうです。バラには精神の鎮静作用特に女性の心を穏やかにする作用や、消化系器官への効用、弱った肝臓や胃腸を壮健にしたり、又殺菌作用もあるとも言われております。クレオパトラや皇帝ネロには特に必要であったのかも知れません。我々ロータリアンにおきましても是非バラを愛して、心安らかな日々を送りたいと思い、お話させていただきました。

委員会報告

社会奉仕委員会

社会奉仕委員長 塩見 守



10月度のダメ・ゼッタイ募金を10月16日の例会で行いました。今月はハロウィンですので、かわいい柄のお菓子詰め合わせを用意しました。募金額は5280円です。皆様の御協力に感謝致します。

S A A 報告

池永隆昭会員 2週お休み頂きました。すみません。

合計 3,000円

幹事報告

(1) 本日の配布物

- ・週報
- ・卓話資料

(2) 幹事報告

- ・35周年チャリティーゴルフコンペ参加者募集しておりますので、皆様のお友達などお誘い合わせの上、申込書を事務局までお送り下さいませ。
- ・10月30日出席確認

ポリオのない世界への決意を新たに：世界ポリオデー特別イベント

世界ポリオデーにあわせて10月23日にニューヨークで行われた特別イベント。7月にナイジェリアでポリオの無発症期間が1年間を過ぎたことを祝い、ポリオのない世界が限りなく目前に近づいていることが報告されました。ユニセフとロータリーが共同開催したこのライブストリーミング行事には、150人以上が参加しただけでなく、世界中から何千もの人が視聴しました。「Time」誌の総合編集者、ジェフリー・クルーガー氏が司会を務め、ユニセフのアンソニー・レイク事務局長をはじめとする世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）のパートナー団体の代表者やポリオ撲滅をサポートする著名人が参加しました。

GPEIは、ロータリー、世界保健機関（WHO）、ユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）が主要パートナーとして約30年間先導してきたもので、現在はビル&メリンダ・ゲイツ財団も支援に加わっています。ポリオ撲滅が達成されれば、ポリオは歴史上2番目に地球上から姿を消す疾病となります。

「世界が紛争で引き裂かれ、人びとの絆がこれまで以上に薄く、弱くなっている」とレイク氏。「ポリオを撲滅することは、人類にとって最大の功績になるだけでなく、多様なパートナーが共通の目標の下に力を合わせ、素晴らしいことを達成できる例になるでしょう」

CDCのポリオ担当マネジャーのジョン・バータフォイ氏は質疑応答でナイジェリアでのポリオ無発症について、政治的なコミットメントと宗教・地域リーダーの参加がカギだったと説明しました。「ナイジェリアでの成功の裏には、難しい状況の中で懸命に活動した何千人もボランティアの力があります。これによってすべての子どもたちにワクチンが行き届きました」

これまで見逃されていた地域の子どもの予防接種、保健従事者の責役割を明確にするメカニズムの構築、医師、ジャーナリスト、ポリオサバイバーの参加もナイジェリアの目標達成に貢献しました。

ナイジェリアとアフリカ大陸に続き、ポリオが現在も残る国（常在国）、アフガニスタンとパキスタンの2国でも進展が見られています。アフガニスタンでは、2014年の28件から、今年の13件へと発症数が減少。パキスタンでもウイルスの伝播が大幅に食い止められており、発症件数も306件から38件へと減少しています。

ポリオ撲滅は医療費の削減という意味でも大きな投資であるとクルーガー氏とバータフォイ氏は強調しました。撲滅を達成することで、今後20年間で500億ドルの医療費の節約が期待されています。これは同時に、撲滅に失敗すれば、ポリオが瞬く間に世界へと拡散し、10年間で毎年20万件の発症につながる恐れがあることを意味します。

撲滅活動をサポートする有名人

このイベントでは、「子どもの口に、命の2滴を投与したときの純粋な喜び」を語ったエミー賞受賞女優のアーチャー・パンジャビさんをはじめ、グラミー賞受賞歌手のアンジェリーク・キジョーさんが最新アルバム「Eve」から1曲を披露しました。

さらに、エミー賞受賞テレビ番組「The Doctors」の司会者でもあるジェニファー・バーマンさんは、ロータリーによるポリオ撲滅活動について、「人類の健康を向上させるために科学の見地を活用する取り組み」と話しました。ビル・ゲイツ、女優でポリオサバイバーのミア・ファロー、モデルで実業家のハイディ・クルム、最近新たにポリオ撲滅大使となったプロレスラーのジョン・シナと女優のクリスティン・ベルもビデオメッセージを寄せました。ベルさんはメッセージの中で次のように述べました。「ポリオを永遠になくするために私たちに何ができるでしょうか。子どもたちがこの病に二度と苦しまないようにするにはどうしたらよいのでしょうか。答えは簡単です。ポリオについて伝えること、寄付を寄せること、ポリオについてもっと知ることです」

ロータリーからの新たな資金援助

1979年以来、ポリオ撲滅に15億ドル以上を寄付してきたロータリー。ジョン・ヒューコ事務総長は、ポリオ撲滅のため、ロータリーから新たに4040万ドルを拠出することを発表。そのうち2600万ドル以上がアフリカ、530万ドルがインド、670万ドルがパキスタン、40万ドルがイラクに充てられると説明しました。また、予防接種と監視活動には約100万ドルを拠出します。

「今夜のイベントは、ポリオのない世界の実現に向けたこれまでの達成とこれから成すべきことを確認する場」と話したヒューコ事務総長。「撲滅が達成されれば、ポリオという予防可能な病から子どもたちを救えるだけでなく、次の世界的な保健活動への土台をつくり、人類の健康を守るための遺産を残すことができるのです」